

〈解答〉

① (1)  $\frac{2}{15}$  (2)  $-1$  (3)  $xy - 12xz$  (4)  $-27ab^3$  (5)  $2x^2 - 10xy$  (6)  $5\sqrt{6}$

② (1)  $x = -4$

(2)  $x = \frac{1}{3}, -\frac{1}{2}$

(3) ア, イ, エ

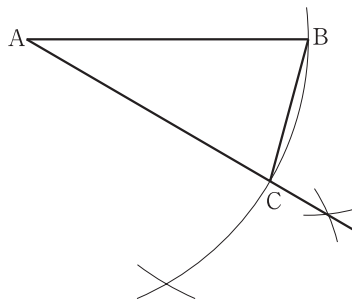
(4) 3

(5) 右図

(6) ①  $\frac{11}{12}$  ②  $\frac{5}{9}$

(7) ① 8 cm ②  $\frac{14}{3}$  秒間

② (5)



配点 各2点 ②③完答 30点満点

〈解説〉

① (1)  $\frac{3}{5} \div \frac{9}{2}$

$$= \frac{3}{5} \times \frac{2}{9}$$

$$= \frac{3 \times 2}{5 \times 9}$$

$$= \frac{2}{15}$$

(2)  $7 + 4 \times (-2)$

$$= 7 + (-8)$$

$$= 7 - 8$$

$$= -1$$

(3)  $x(3y - 2z) - 2x(y + 5z)$

$$= 3xy - 2xz - 2xy - 10xz$$

$$= 3xy - 2xy - 2xz - 10xz$$

$$= xy - 12xz$$

(4)  $-4ab^2 \div \left(-\frac{2a}{3}\right)^2 \times 3a^2b$

$$= -4ab^2 \div \frac{4a^2}{9} \times 3a^2b$$

$$= -4ab^2 \times \frac{9}{4a^2} \times 3a^2b$$

$$= -\frac{4ab^2 \times 9 \times 3a^2b}{4a^2}$$

$$= -27ab^3$$

$$(5) (x-4y)(x+4y) + (x-8y)(x-2y)$$

$$= (x^2-16y^2) + (x^2-10xy+16y^2)$$

$$= x^2-16y^2+x^2-10xy+16y^2$$

$$= x^2+x^2-10xy-16y^2+16y^2$$

$$= 2x^2-10xy$$

$$(6) \sqrt{12} \times 2\sqrt{8} - \frac{18}{\sqrt{6}}$$

$$= 2\sqrt{3} \times 4\sqrt{2} - \frac{18 \times \sqrt{6}}{\sqrt{6} \times \sqrt{6}}$$

$$= 8\sqrt{6} - \frac{18\sqrt{6}}{6}$$

$$= 8\sqrt{6} - 3\sqrt{6}$$

$$= 5\sqrt{6}$$

□ (1) 左辺の $-12$ , 右辺の $14x$ を移項して,

$$9x-14x=8+12$$

$$-5x=20$$

両辺を $-5$ で割って,

$$x=-4$$

(2) 二次方程式  $ax^2+bx+c=0$  ( $a \neq 0$ ) の解は,

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

この式に  $a=6$ ,  $b=1$ ,  $c=-1$  を代入して,

$$x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 6 \times (-1)}}{2 \times 6}$$

$$= \frac{-1 \pm \sqrt{1+24}}{12}$$

$$= \frac{-1 \pm \sqrt{25}}{12}$$

$$= \frac{-1 \pm 5}{12}$$

よって

$$x = \frac{-1+5}{12} = \frac{1}{3}, \quad x = \frac{-1-5}{12} = -\frac{1}{2}$$

(3)  $x$  の値を決めると, それにともなって  $y$  の値もただ1つに決まるとき,  $y$  は  $x$  の関数である。

$$\text{ア} \cdots \frac{1}{2} \times x \times y = 12 \text{より, } y = \frac{24}{x}$$

$$\text{イ} \cdots \frac{1}{2} \times y \times 6 = x \text{ より, } y = \frac{1}{3}x$$

ウ… 台形の高さがわかっていないので、高さを  $h$  cm とすると、

$$\frac{1}{2} \times (x + 8) \times h = y \text{ より, } y = \frac{1}{2}hx + 4h$$

$x$  の値を決めても、 $h$  の値によって  $y$  は何通りにも決まるので、 $y$  は  $x$  の関数ではない。

$$\text{エ} \cdots \frac{4}{3} \pi \times \left(\frac{x}{2}\right)^3 = y \text{ より, } y = \frac{1}{6} \pi x^3$$

ア、イ、エは、 $x$  の値を決めると、それにともなって  $y$  の値もただ 1 つに決まるので、 $y$  は  $x$  の関数である。

(4)  $x = -4$ 、 $-2$  のときの  $y$  の値はそれぞれ、

$$y = -\frac{1}{2} \times (-4)^2 = -8$$

$$y = -\frac{1}{2} \times (-2)^2 = -2$$

よって、変化の割合は、

$$\frac{-2 - (-8)}{-2 - (-4)} = \frac{6}{2} = 3$$

(5)  $\angle ABC = 75^\circ$ 、 $\angle BAC = 30^\circ$  より、

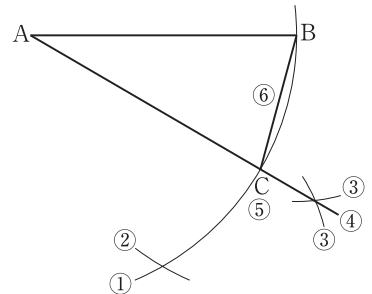
$$\angle ACB = 180^\circ - 75^\circ - 30^\circ = 75^\circ$$

となり、 $\triangle ABC$  は、 $AB = AC$  の二等辺三角形である。

また、

$$30^\circ = \frac{1}{2} \times 60^\circ$$

なので、線分  $AC$  は  $60^\circ$  の角の二等分線になる。よって、右の図のように、以下の手順①～⑥で作図するとよい。



① 点  $A$  を中心とし、線分  $AB$  を半径とする円弧をかく。

② 点  $B$  を中心とする、①の円弧と等しい半径の円弧をかく。

③ ①、②でかいた円弧どうしの交点と点  $B$  を中心とする、等しい円弧をかく。

④ 点  $A$  と、③でかいた円弧どうしの交点を通る直線を引く。

⑤ ④で引いた直線と①でかいた円弧の交点が、求める点  $C$  である。

⑥ 点  $B$  と点  $C$  を両端とする線分  $BC$  を引く。

### 【別解】

① 線分  $AB$  を一辺とする正三角形  $ABD$  をつくる。

②  $\angle BAD$  の角の二等分線を引く。

③ 線分  $AB$  を半径とし、点  $A$  を中心とする円弧をかく。

④ ②と③の交点が求める点  $C$  となる。

(6) ① すべての場合の数は

$$6 \times 6 = 36 \text{ [通り]}$$

で、 $a + b$ の値が3以下になるのは

$$(a, b) = (1, 1), (1, 2), (2, 1)$$

の3通りなので、求める確率は、

$$\frac{36 - 3}{36} = \frac{11}{12}$$

②  $b$ が $2a$ の約数になればよい。

$$a = 1 (2a = 2) \text{ のとき, } b = 1, 2$$

$$a = 2 (2a = 4) \text{ のとき, } b = 1, 2, 4$$

$$a = 3 (2a = 6) \text{ のとき, } b = 1, 2, 3, 6$$

$$a = 4 (2a = 8) \text{ のとき, } b = 1, 2, 4$$

$$a = 5 (2a = 10) \text{ のとき, } b = 1, 2, 5$$

$$a = 6 (2a = 12) \text{ のとき, } b = 1, 2, 3, 4, 6$$

よって、求める確率は、

$$\frac{2 + 3 + 4 + 3 + 3 + 5}{36} = \frac{5}{9}$$

(7) ① 図2より、点Pが頂点Cに到着したときの $\triangle ABP$ の面積が $24\text{cm}^2$ になっているから、

$$\frac{1}{2} \times BC \times 6 = 24 \text{ より, } BC = 8 \text{ [cm]}$$

② 点Pが頂点Aに到着するまでのグラフは、右の図のようになる。 $0 \leq x \leq 8$ のとき、

$$y = \frac{24}{8}x = 3x$$

$8 \leq x \leq 14$ のとき、 $AP = (14 - x)$  cmと表されるから、

$$y = \frac{1}{2} \times (14 - x) \times 8 = -4x + 56$$

$\triangle ABP$ の面積が $8\text{cm}^2$ になるのは、

$$0 \leq x \leq 8 \text{ のとき, } 8 = 3x \text{ より, } x = \frac{8}{3}$$

$$8 \leq x \leq 14 \text{ のとき, } 8 = -4x + 56 \text{ より, } x = 12$$

よって、 $\triangle ABP$ の面積が $8\text{cm}^2$ 以下であるのは、0秒後から $\frac{8}{3}$ 秒後までの $\frac{8}{3}$ 秒間と、12秒後から14秒後までの2秒間である。以上より、

$$\frac{8}{3} + 2 = \frac{14}{3} \text{ [秒間]}$$

